税効果会計 第1問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、問題文で指示されている勘定科目以外は、許容勘定科目表から最も適当と思われるものを選ぶこと。

- 1. ×3 年度の決算において、売掛金に対して貸倒引当金を¥150,000 計上したが、うち¥30,000 は税法上 損金に算入することが認められなかった。なお、法人税等の実効税率は 40%とする。税効果会計に関す る仕訳のみ行うこと。
- 2. 1. について、該当する売掛金が貸倒れ、当期中に適切に処理して損金に算入することが認められた。そこで税効果会計の処理を行う。
- 3. 決算にあたり、当期首に取得した備品(取得原価¥500,000、残存価額ゼロ、耐用年数5年)について、 定額法により減価償却を行った。税法で認められている耐用年数は8年であるため、税法で認められてい る償却額を超過した部分については、損金に算入することが認められない。よって、減価償却に関する税 効果の仕訳を示しなさい。なお、法人税等の実効税率は40%とする。
- 4. 栃木産業㈱は、茨城商事㈱との取引を開始するにあたり、同社と長期にわたる取引関係を維持するために、同社の株式 5,000 株を 1 株あたり ¥2,000 で購入し、諸費用¥200,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- 5. 決算にあたり、4. 茨城商事㈱株式の時価評価を行った。当該株式の時価は1株あたり¥2,100である。 全部純資産直入法によることとし、税効果会計を適用する。法定実効税率は40%である。
- 6. 翌期首に5.の再振替仕訳を行う。
- 7. 新潟商事㈱は、石川物産㈱との取引を開始するにあたり、同社と長期にわたる取引関係を維持するために、同社の株式 10,000 株を 1 株あたり ¥1,200 で購入し、諸費用¥100,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- 8. 決算にあたり、7. 石川物産㈱株式の時価評価を行った。当該株式の時価は1株あたり¥1,150である。 全部純資産直入法によることとし、税効果会計を適用する。法定実効税率は40%である。
- 9. 翌期首に8.の再振替仕訳を行う。
- 10. 決算にあたり、その他有価証券として保有する富山林業㈱の株式 2,500 株 (1 株あたりの帳簿価額 ¥3,400) を全部純資産直入法にもとづき 1 株につき¥3,600 に評価替えする。税効果会計を適用し、法 定実効税率は40%とする。

税効果会計 第1問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	繰延税金資産	12, 000	法人税等調整額	12, 000
2	法人税等調整額	12, 000	繰延税金資産	12, 000
3	繰延税金資産	15, 000	法人税等調整額	15, 000
4	その他有価証券	10, 200, 000	当座預金	10, 200, 000
5	その他有価証券	300, 000	繰 延 税 金 負 債 その他有価証券評価差額金	120, 000 180, 000
6	繰 延 税 金 負 債 その他有価証券評価差額金	120, 000 180, 000	その他有価証券	300, 000
7	その他有価証券	12, 100, 000	当 座 預 金	12, 100, 000
8	繰 延 税 金 資 産 その他有価証券評価差額金	240, 000 360, 000	その他有価証券	600, 000
9	その他有価証券	600, 000	繰 延 税 金 資 産 その他有価証券評価差額金	240, 000 360, 000
10	その他有価証券	500, 000	繰 延 税 金 負 債 その他有価証券評価差額金	200, 000 300, 000

【解説】

- 1. $\$30,000 \times 40\% = \$12,000$
- 3. (¥500,000÷5年-¥500,000÷8年) \times 40%=¥15,000
- 4. 取得原価; \(\forall 2,000\times 5,000 \, \partial + \(\forall 200,000 = \(\forall 10,200,000 \)
- 5. 取得原価; ¥10, 200, 000 < 期末時価; ¥2, 100×5 , 000 株=¥10, 500, 000 ⇒ ¥300, 000 評価益 繰延税金負債; ¥300, $000 \times 40\% =$ ¥120, 000
- 7. 取得原価; ¥1,200×10,000 株+¥100,000=¥12,100,000
- 5. 取得原価; ¥12,100,000 > 期末時価; ¥1,150×10,000 株=¥11,500,000 \Rightarrow ¥600,000 評価損 繰延税金資産; ¥600,000×40%=¥240,000
- 10. 取得原価; \(\frac{\cup}{3}\), 400\(\times\)2, 500 株=\(\frac{\cup}{8}\), 500, 000 < 期末時価; \(\frac{\cup}{3}\), 600\(\times\)2, 500 株=\(\frac{\cup}{9}\), 000, 000
 - ⇒ ¥500,000評価益

繰延税金負債; ¥500,000×40%=¥200,000